

不祥事根絶のための行動計画

【不祥事根絶に向けた本校の決意】（行動基準）

「尊敬」と「信頼」が学校の命

全力で子どもを守る広南小中の教職員 ～「不祥事かな？」迷わず報告・連絡・相談・確認～

広南学園の一員としての自覚を高く持ち、生徒・保護者及び地域の皆様と共に、
広南中学校の伝統を築いていくことを誓います。

令和7年4月1日

呉市立広南中学校
作成責任者 校長 坪浦敏美

区分	本校の課題	行動目標	取組内容	点検方法・時期
教職員の 規範意識の向上	○不祥事防止や規範意識に対する 当事者意識をより高める必要があ る。	○ 服務研修の方法や内容等を見直 し、当事者意識を高める。	○全教職員が講師となり（年に1回以上）、 資料の作成・研修の運営を行う。 ○ロールプレイ研修やヒヤリ・ハット事例を 活用した研修等を積極的に取り入れる。	○ 毎月、企画委員会・不 祥事防止委員会が、研修 内容、実施状況を点検す る。
学校組織としての 不祥事防止体制の確立	○気になることはどんなことでも 「報告・連絡・相談・確認」をすると いう意識をより高める必要がある。	○組織で仕事を進めている自覚を高 め、教職員間のコミュニケーショ ン、「報告・連絡・相談・確認」を さらに促進する。	○ 教職員間で、気になったこと・よく頑張 っていること等の気付き、感謝の気持ちを 言葉にして相手に伝えるようにする。 ○「不祥事根絶に向けた本校の決意カード」 を必ず職員の名札裏に入れて携帯し、不祥 事根絶を意識づける。 ○各分掌部会等で情報交換を行い、不祥事防 止に係るヒヤリ・ハット事例を整理し、未 然防止に努める。	○管理職・主任間の情報交 換を、週に1回以上実施 し、情報共有を図る。 ○毎月、不祥事防止委員会 による校内巡回（各教室 内を含めた巡回による 環境点検）を実施する。
相談体制の充実	○生徒数が少なく人間関係が固定化 しやすい環境のため、生徒が悩みや ストレス等について、誰かに相談で きず、我慢したり、一人でため込ん だりしてしまうことがある。	○生徒・保護者へ「相談窓口・相談体 制」等の周知を繰り返し行い、相談 しやすい体制をつくる。 ○定期的なアンケート調査を実施す る。 ○ＳＣや担任等による定期的な教育 相談活動を実施する。	○「相談窓口・相談体制」周知のための配付 プリント、HP、学校だより、学級通信等 で、年間を通して複数回、生徒・保護者に 周知を図る。 ○体罰・セクハラ・いじめについての生徒ア ンケート調査を月に1回実施し、記述のあ った生徒については教育相談を実施する。 ○担任やＳＣ等による全生徒への教育相談 活動を学期に1回以上実施する。	○ 各学期末に、不祥事防 止委員会が、アンケート 調査とその対応状況、相 談窓口等の周知状況、窓 口等の活用状況を確認 する。